



YAMATO
HOLDINGS

ヤマトグループ 決算説明資料

＜2026年3月期 第1四半期＞

2025年7月30日

ヤマトホールディングス株式会社

1. 連結経営成績（サマリー）

【2026年3月期 第1四半期業績】

営業収益 4,373億円（前期差 +317億円）

営業利益 △64億円（前期差 +77億円）

親会社株主に帰属する

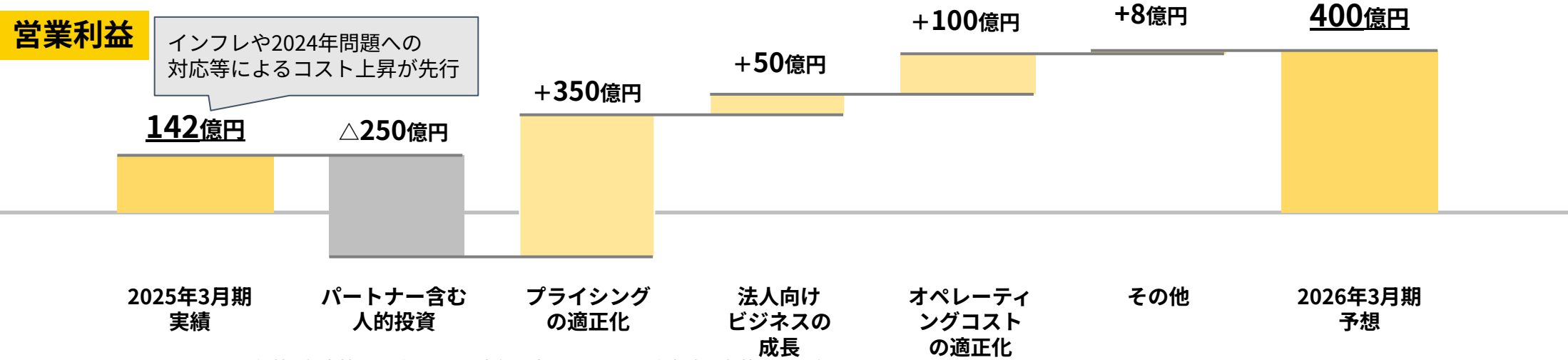
四半期純利益 △54億円（前期差 +46億円）

- ・物価上昇と実質賃金減少の継続により国内の消費マインドは停滞。地政学リスクの高まりなどにより景気の先行きは依然として不透明
- ・営業収益は、法人部門（大口法人顧客）のプライシング適正化、宅急便部門（小口法人・個人顧客）の取扱数量拡大を推進するとともに、法人向けビジネスの拡大に注力し、増収
- ・営業利益・四半期純利益は、宅急便ネットワークの強靱化に向けた人的投資やネットワーク投資を実行しつつ、輸送領域のオペレーション見直しや間接コストのコントロール等に注力し、改善

2. 2026年3月期の方針（再掲）

・ 2026年3月期は、以下3点の利益成長ドライバーにより、大幅増益を目指す

利益成長ドライバー	方針
プライシングの適正化	<ul style="list-style-type: none"> 収益構成を変革し、付加価値に応じた適正なプライシングを実施することで、営業利益を押し上げる
法人向けビジネスの成長	<ul style="list-style-type: none"> 法人向け輸配送ネットワークおよびオペレーションノウハウを生かした国内における大型DC,FC案件の提案・獲得※および顧客のグローバルビジネスに対する付加価値創出を通じた収益成長により、営業利益を拡大
オペレーティングコストの適正化	<ul style="list-style-type: none"> 新規・既存拠点の機能や運び方、作業人員構成などを見直し、顧客ニーズに対応しつつ、固定費の抑制および業務量に応じた変動費コントロールを実施

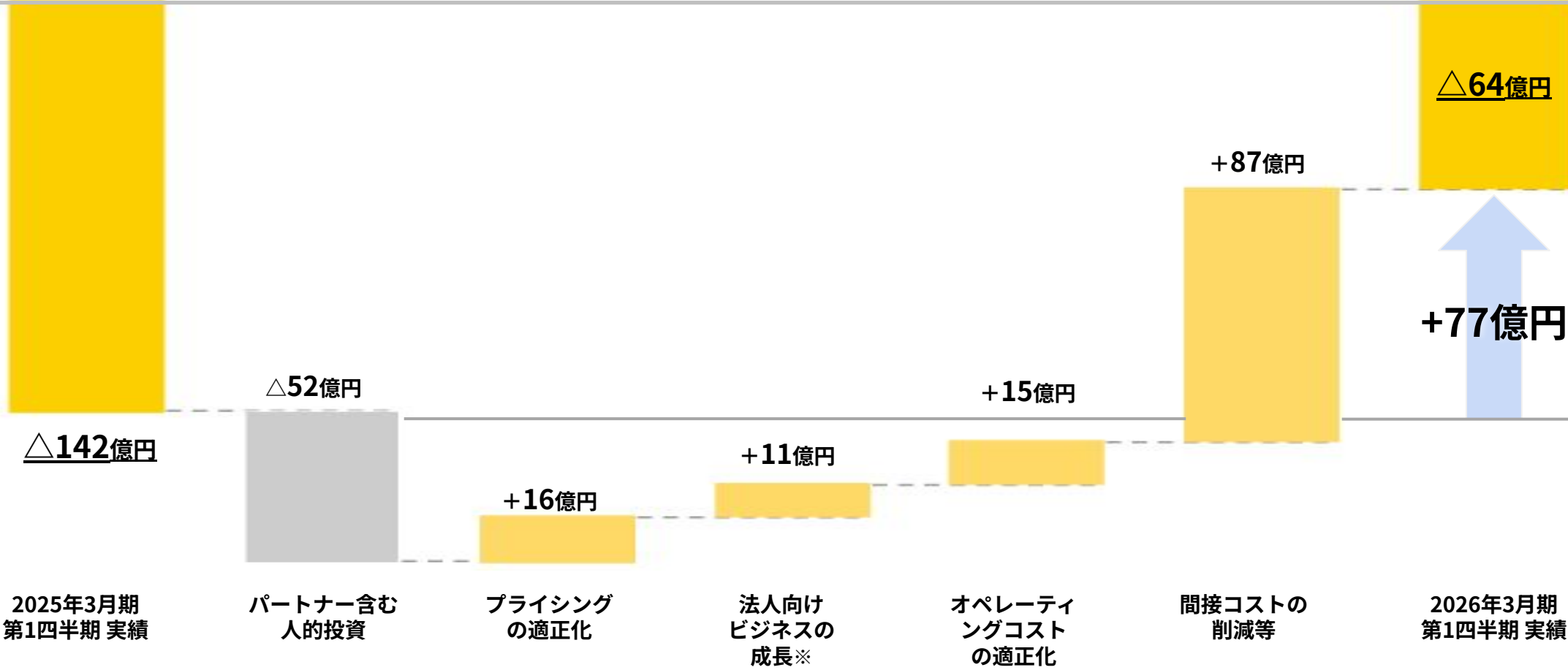


※ DC(Distribution Center、保管・在庫管理を主とし、受注に応じピッキング・梱包・出荷などを行う)、
 FC(Fulfillment Center、主にEC向けに在庫管理・ピッキング・梱包・出荷・返品対応までの一連の業務を一括で行う)

3. 営業利益の増減要因（前期差）

- ・利益成長ドライバー施策を推進するとともに、間接コストのコントロール等に注力した結果、増益（+77億円）

営業利益



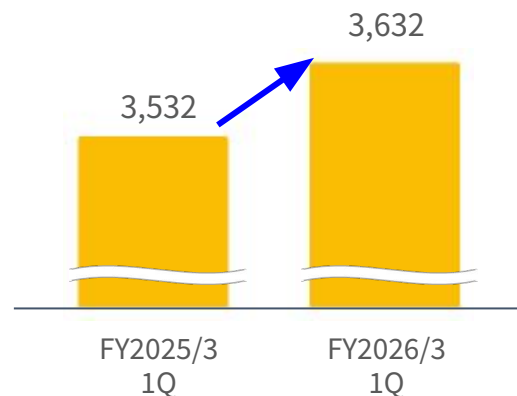
※のれんの償却費（約3億円）、本社関連費用の配賦方法変更影響（約5億円）を除いた実力値ベース

4. プライシングの適正化（法人部門）

- ・付加価値に応じたプライシングの適正化を推進し、収益性を向上させる方針
→法人単価は6四半期ぶりに上昇。プライシング交渉をさらに強化していく

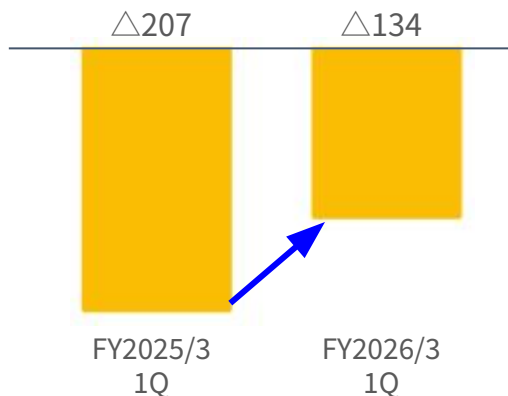
EXP事業 営業収益（外販）

（億円）



EXP事業 営業利益

（億円）



FY2026/3 1Qの進捗

・法人部門の単価が上昇に転換

- ・前期から進めてきた交渉結果が順次反映し、低採算顧客を中心にプライシング適正化が進展

FY2026/3 2Q以降の方針・施策

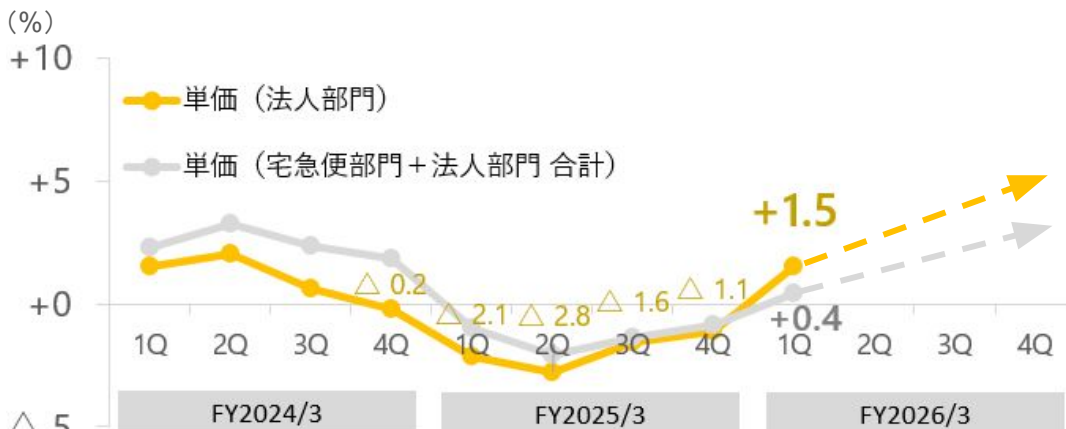
・付加価値に応じたプライシング適正化の推進

- ・低採算顧客へのプライシング交渉をさらに強化
- ・既存顧客との年次でのプライシング見直しも併せて推進

・提供価値の拡大による収益・利益の拡大

- ・安定したサービスレベルとフレイターの深夜早朝、長距離、スピード輸送を強みに、貨物輸送ニーズの取り込みを図る

平均単価の推移※ （対前年伸率）

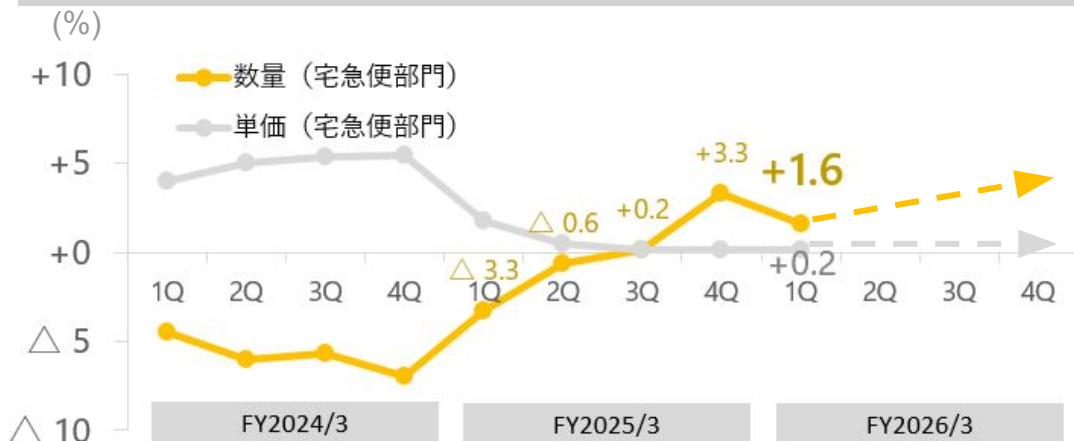


※ 宅急便・宅急便コンパクト・EAZY

5. 宅急便収入の拡大（宅急便部門）

- ・ 相対的に単価の高い宅急便部門では、取扱数量を拡大し営業利益を押し上げる方針
→ 3四半期連続で取扱数量が増加。「集荷」を強みに営業強化し利益成長を図る

取扱数量・平均単価の推移※
(対前年伸率)



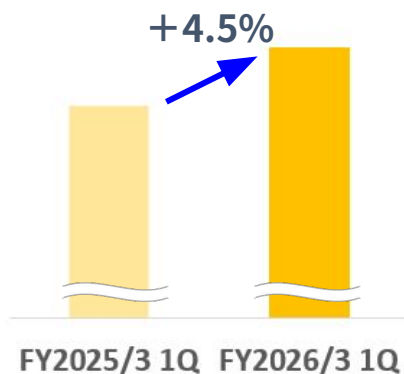
FY2026/3 1Qの進捗

- ・ 宅急便部門の取扱数量が増加継続（単価水準は維持）
 - ・ 拠点や人材等の再配置を進め営業力強化を推進し、セールスドライバー(SD)稼働当たり収入は着実に増加
- ・ EC顧客とのシステム連携強化により、顧客指定に基づく置き配指定個数が増加し、不在率が低下（7.6% ⇒ 1.1pt改善）
→ SDは集荷の比重を拡大

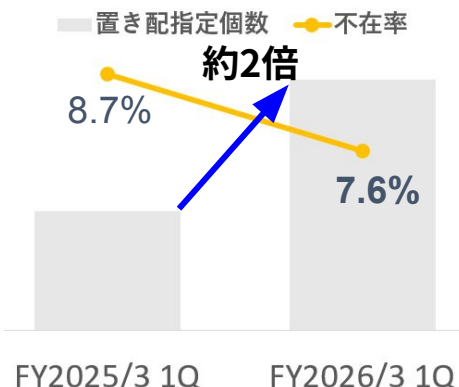
FY2026/3 2Q以降の方針・施策

- ・ 戦力の適正配置を加速し、営業力強化を推進
 - ・ 競争環境の変化を踏まえ、「集荷」を強みに営業強化
 - ・ お客様に向き合う第一線の組織への人材配置を加速
 - ・ 市場性に基づき集配拠点の再配置と受付専門店等を展開
生産性の維持・向上と個人・インバウンド等の需要取込み
- ・ 宅急便の届出運賃改定（適正かつ柔軟なプライシング）
 - ・ 大きいサイズ、ゴルフ・スキー宅急便（2025年10月～）
 - ・ 付加価値に応じた課金、お客様がさらに利用しやすい設計に向けた見直しを継続

SD稼働当たり収入の推移
(対前年伸率)

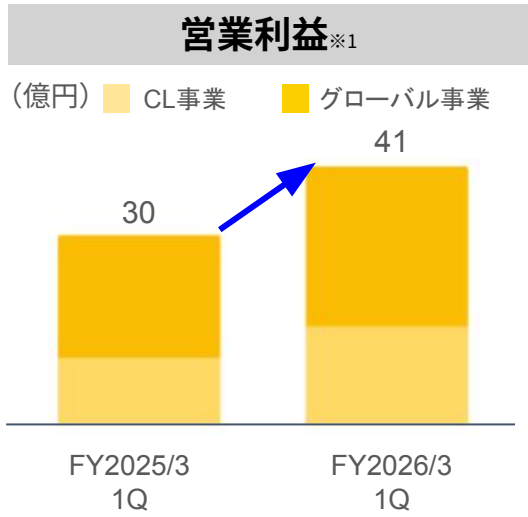
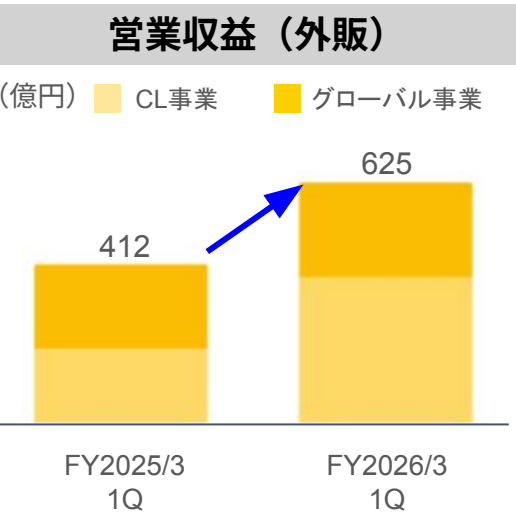


置き配指定個数・不在率の推移



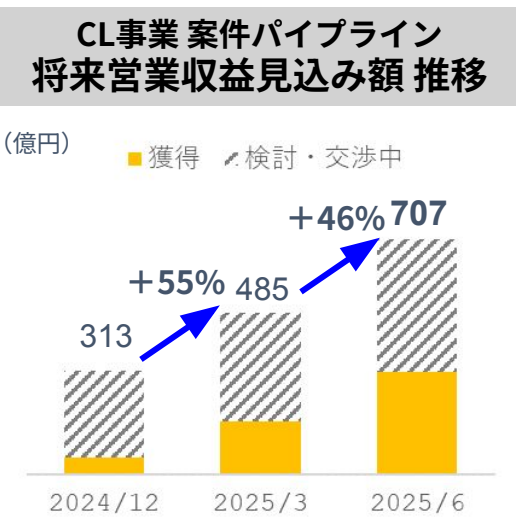
6. 法人向けビジネスの成長

・提供価値を拡大し顧客のビジネス拡大を支援することで、当社の利益成長につなげる方針
→CL・グローバル事業ともに案件パイプラインが着実に増加し、増収・増益※1



FY2026/3 1Qの進捗

- 将来収益につながる案件パイプラインを拡大（CL事業）
 - ・CL事業の推進体制強化およびナカノ商会のノウハウ活用により、案件パイプライン（獲得含む）の着実な積み上げを実現
- 不確実性の高い市況で着実に利益成長（グローバル事業）
 - ・国際FWD（一般FWD、国際EXP、海外生活支援）の拡販および混載効率向上、海外CLの原価低減活動が進展※2



FY2026/3 2Q以降の方針・施策

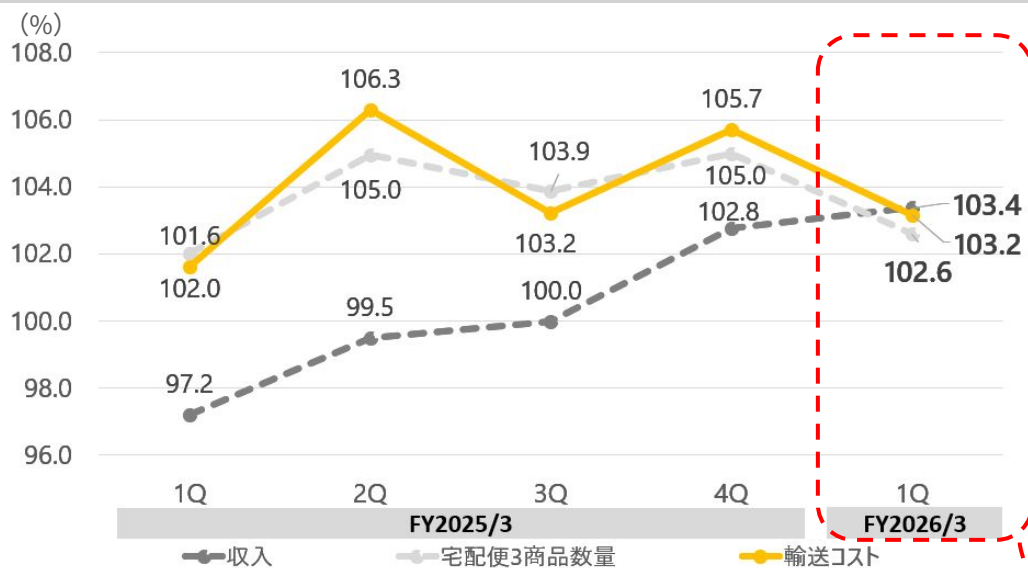
- 大型DC, FC案件の提案・獲得（CL事業）
 - ・引き続き付加価値の高いサプライチェーンソリューションの提案、およびオペレーションの品質・生産性改善を推進
- グローバルビジネスへの付加価値創出（グローバル事業）
 - ・地政学リスクにより生じる変化を好機と捉え、顧客のサプライチェーン全体に対する価値提供を推進
 - ・日本、米国およびメキシコ、中国、インド、東南アジアに注力し、国際FWDの効率向上、越境ECへの提案強化、海外現地の物流需要への対応を推進

※1 のれんの償却費（約3億円）・本社関連費用の配賦方法変更影響（約5億円）を除いた実力値ベース
 ※2 FWD：フォワーディング CL：コントラクト・ロジスティクス

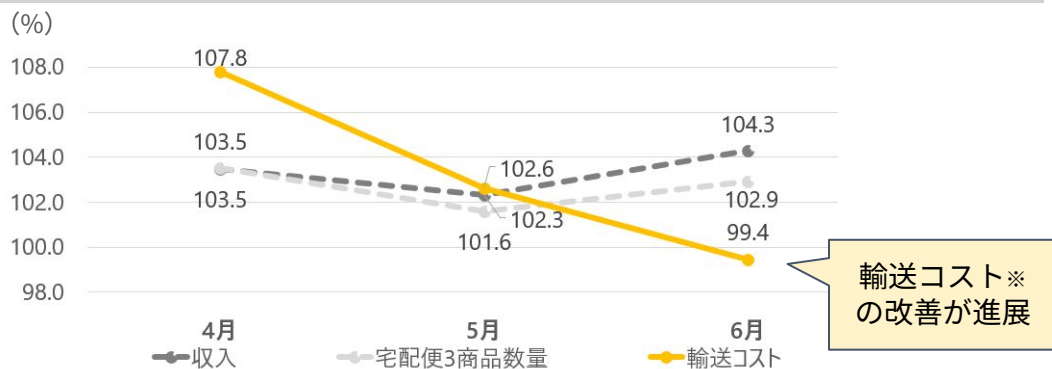
7. オペレーティングコストの適正化

- ・ 輸送領域を中心に輸送効率化と作業生産性向上によるコスト削減施策を推進
→ 輸送コストは、前期比較で月を追って改善しており、施策が成果につながりつつある

収入・数量・オペレーティングコストの推移※（前年同期比）



FY2026/3 1Qの月別推移（前年同期比）



FY2026/3 1Qの進捗

・ 仕分け作業のコスト適正化が進展（輸送領域）

- ・ 新規・既存拠点の機能整理や運び方見直しの前提となる、オペレーション時間軸の適正化が進展
→ 成果創出に向けた基盤を構築

- ・ ターミナルでの作業人材の適正配置により、コスト適正化と生産性向上が進展

FY2026/3 2Q以降の方針・施策

・ 輸送・積載効率向上によるコスト適正化（輸送領域）

- ・ 都市部における近距離輸送の効率化
- ・ 長距離輸送の運び方見直し（中継輸送）
- ・ 輸送の内製化率引き上げ（自社車両の最大活用）

→ 3Qより幹線輸送の本格的な成果刈り取りを図る

※収入：宅配便3商品+投函商品 輸送コスト：パートナー含む人的投資によるコスト上昇影響を含む

8. 連結業績予想（主要指標）

・引き続き、プライシング適正化、宅急便収入拡大、法人向けビジネス拡大、およびオペレーティングコストの適正化などに注力するとともに、B/Sマネジメントを強化
→今期業績予想の達成および来期以降の持続的な利益成長と企業価値向上につなげる

(億円)	FY2025/3 実績	FY2026/3 前回予想	FY2026/3 今回予想 (変更なし)	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
営業収益	17,626	18,800	18,800	—	—	+1,173	+6.7
営業利益	142	400	400	—	—	+257	+181.6
利益率 (%)	0.8	2.1	2.1	—	—	+1.3	—
経常利益	195	400	400	—	—	+204	+104.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	379	240	240	—	—	△ 139	△ 36.7
ROE (%)	6.5	4.1	4.1	—	—	△ 2.4	—
ROIC (%)	1.4	3.7	3.7	—	—	+2.3	—

※(株)ナカノ 商会の連結影響含む（2025年3月期第4四半期～）

参考. 「グリーン・モビリティ」の進捗

- 「グリーン・モビリティ」の取組みをビジネスモデルとして磨き上げ、法人顧客の持続可能なサプライチェーン構築を支援するソリューション提供により新たな収益創出

＜お客様＞

- 車両を使用する事業者様

＜直面する課題＞

- 気候変動への対応
- EV・再エネの最適運用
 - GHG排出量の可視化・削減

- 労働力不足への対応／健康起因事故の防止※1
- 社員のウェルビーイング向上

クルマ

エネルギー

ヒト

- ヤマトグループ内での取組みにより蓄積したノウハウ・実績をもとに、ソリューションとして顧客へ提供
- クルマ・エネルギー・ヒトの課題をワンストップでサポート

ライフサイクルサービス



YAMATO ENERGY
MANAGEMENT



MY MEDICA

成長
領域

顧客向け

2024年10月 提供開始

2025年度中に提供開始予定

2025年2月 提供開始

グループ
実績

EV導入台数：約4,200台

独自のEMS※2
再エネ使用率：58%

社員約17万人

基盤領域

ヤマトオートワークスを基盤とした、24時間365日営業、全国72の整備拠点
EV含む多様な自動車の整備、保険・燃料販売、物流施設・設備の維持管理等

※1 2021年6月から健康診断未受診の運転者による健康起因事故が、事業者に対する行政処分の対象となった

※2 エネルギーマネジメントシステム

補足資料



9. 連結業績

(億円)	FY2025/3 1Q実績	FY2026/3 1Q実績	前期比較		主な要因（前期差）
			増減	伸率（%）	
営業収益	4,056	4,373	+317	+7.8	
営業利益	△ 142	△ 64	+77	—	
営業外損益	△ 6	△ 1	+5	—	・ 為替差損 — (△8) ・ 支払利息 5 (+2)
経常利益	△ 148	△ 66	+82	—	
特別損益	△ 1	0	+2	—	・ 子会社清算益 1 (+1) ・ 投資有価証券評価損 0 (△2)
税金等調整前四半期純利益	△ 150	△ 66	+84	—	
法人税等	△ 49	△ 12	+37	—	
四半期純利益	△ 100	△ 53	+46	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 101	△ 54	+46	—	

10.セグメント別業績

FY2026/3 1Q

(億円)	エクスプレス 事業	コントラクト・ ロジスティクス 事業	グローバル 事業	モビリティ 事業	その他	合計	調整額	連結損益 計算書計上額
営業収益	3,733	427	257	162	170	4,750	△ 377	4,373
外部顧客に対する営業収益	3,632	377	248	50	65	4,373	—	4,373
セグメント間の内部営業収益又は振替高	101	50	9	111	105	377	△ 377	—
営業費用	3,867	415	231	145	153	4,814	△ 376	4,438
セグメント利益	△ 134	12	26	16	16	△ 63	△ 1	△ 64
利益率 (%)	△ 3.6	2.8	10.1	9.9	9.6	△ 1.3	—	△ 1.5

FY2025/3 1Q

(億円)	エクスプレス 事業	コントラクト・ ロジスティクス 事業	グローバル 事業	モビリティ 事業	その他	合計	調整額	連結損益 計算書計上額
営業収益	3,623	204	228	136	179	4,372	△ 315	4,056
外部顧客に対する営業収益	3,532	193	219	50	61	4,056	—	4,056
セグメント間の内部営業収益又は振替高	91	11	8	86	118	315	△ 315	—
営業費用	3,830	193	203	123	162	4,513	△ 314	4,198
セグメント利益	△ 207	11	24	12	16	△ 141	△ 0	△ 142
利益率 (%)	△ 5.7	5.8	10.8	9.2	9.4	△ 3.2	—	△ 3.5

【前期比較】

(億円)	エクスプレス 事業	コントラクト・ ロジスティクス 事業	グローバル 事業	モビリティ 事業	その他	合計	調整額	連結損益 計算書計上額
営業収益	+110	+223	+29	+25	△ 9	+378	△ 61	+317
増減 伸率 (%)	+3.0	+108.9	+12.8	+18.9	△ 5.3	+8.7	—	+7.8
外部顧客に対する営業収益	+99	+183	+29	+0	+3	+317	—	+317
セグメント間の内部営業収益又は振替高	+10	+39	+0	+24	△ 13	+61	△ 61	—
営業費用	+37	+222	+27	+22	△ 8	+301	△ 61	+240
増減 伸率 (%)	+1.0	+115.4	+13.7	+18.0	△ 5.5	+6.7	—	+5.7
セグメント利益	+72	+0	+1	+3	△ 0	+77	△ 0	+77
増減 伸率 (%)	—	+3.0	+5.8	+28.5	△ 2.9	—	—	—

※(株)ナカノ商会の連結影響含む（2025年3月期第4四半期～）／2026年3月期より、ヤマト運輸(株)の本社関連費用の各事業への配賦方法を変更

11. 取扱数量・単価動向

- ・ 宅配便3商品 : 宅急便部門の数量が引き続き増加し、法人部門の単価は上昇に転換
- ・ ネコポス・クロネコゆうパケット: ネコポスの集荷や翌日配達の強みを活かし、数量拡大
- ・ クロネコゆうメール : サービスラインアップの一つとして販売継続（配達日本郵便に委託）

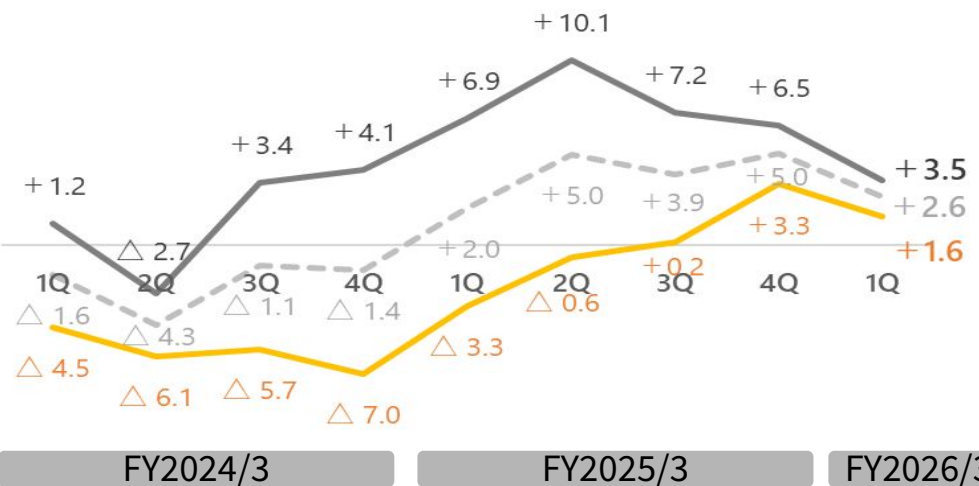
取扱数量

(千個)	FY2025/3 1Q	FY2026/3 1Q	伸率 (%)
宅急便・宅急便コンパクト・EAZY	451,245	463,175	+2.6
宅急便部門（小口法人・個人）	205,279	208,526	+1.6
法人部門（大口法人）	245,966	254,649	+3.5
ネコポス・クロネコゆうパケット	99,665	107,305	+7.7
クロネコゆうメール	33,068	27,101	△18.0

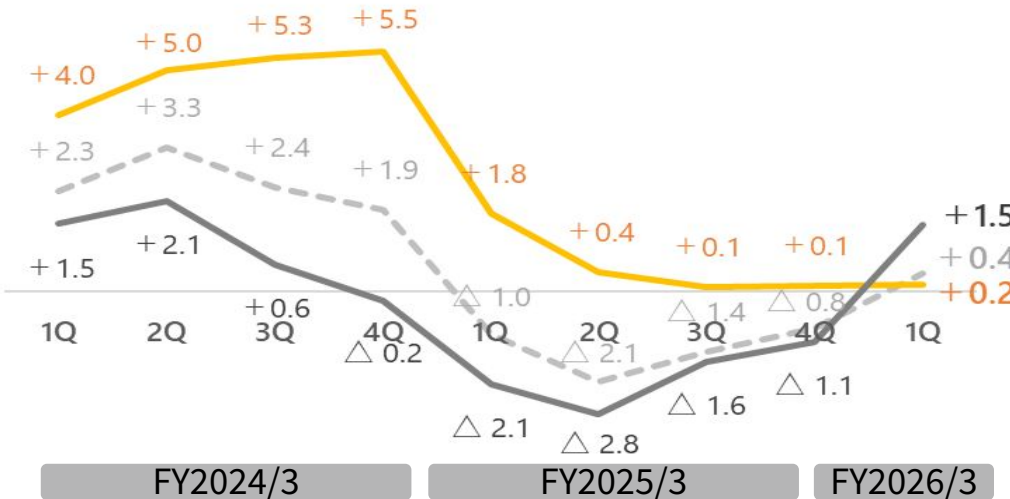
平均単価

(円)	FY2025/3 1Q	FY2026/3 1Q	伸率 (%)
宅急便・宅急便コンパクト・EAZY	706	709	+0.4
ネコポス・クロネコゆうパケット	190	189	△0.5
クロネコゆうメール	78	86	+10.3

宅配便3商品 領域別取扱数量推移（前年同期比伸率）



宅配便3商品 領域別単価推移（前年同期比伸率）



※宅配便3商品：宅急便・宅急便コンパクト・EAZY 12

12. 連結営業費用

(億円)	FY2025/3 1Q実績	FY2026/3 1Q実績	前期比較	
			増減	伸率 (%)
営業収益	4,056	4,373	+317	+7.8
営業費用	4,198	4,438	+240	+5.7
下払経費	1,613	1,842	+229	+14.2
委託費	869	916	+47	+5.4
集配委託	207	253	+45	+21.9
作業委託	100	100	△ 0	△ 0.8
EC物流NW	75	45	△ 29	△ 39.3
その他	485	517	+31	+6.6
備車費	548	691	+142	+26.0
その他	194	234	+39	+20.3
人件費	1,969	1,974	+5	+0.3
社員給料	1,324	1,337	+13	+1.0
法定福利費	251	247	△ 3	△ 1.2
退職給付費用	66	41	△ 25	△ 37.5
賞与・その他	326	346	+20	+6.2
車両費	129	133	+4	+3.2
車両修繕費	67	68	+1	+1.8
燃料油脂費	62	65	+2	+4.7
その他経費	902	968	+66	+7.3
減価償却費	117	127	+9	+8.4
システム関連費用	152	137	△ 15	△ 10.1
施設使用料	230	293	+62	+27.1
その他	401	410	+9	+2.3
合計	4,614	4,919	+305	+6.6
内部仕入消去	△ 415	△ 480	△ 65	—
営業利益	△ 142	△ 64	+77	—

※(株)ナカノ 商会の連結影響含む (2025年3月期第4四半期～)

13. 従業員の状況

(人)	FY2025/3			FY2026/3						
	1Q			1Q			前期比較			
	フル タイマー	パート タイマー	計	フル タイマー	パート タイマー	計	フル タイマー	パート タイマー	計	伸率(%)
総人数	88,863	87,182	176,045	88,369	84,988	173,357	△ 494	△ 2,194	△ 2,688	△ 1.5
エクスプレス 事業	80,165	81,463	161,628	77,445	78,799	156,244	△ 2,720	△ 2,664	△ 5,384	△ 3.3
コントラクト・ ロジスティクス 事業	1,526	2,920	4,446	3,879	3,652	7,531	+2,353	+732	+3,085	+69.4
グローバル事業	2,440	247	2,687	2,530	223	2,753	+90	△ 24	+66	+2.5
モビリティ事業	1,530	594	2,124	1,453	588	2,041	△ 77	△ 6	△ 83	△ 3.9
その他	3,202	1,958	5,160	3,062	1,726	4,788	△ 140	△ 232	△ 372	△ 7.2

※(株)ナカノ 商会の連結影響含む (2025年3月期第4四半期～)

14. 設備投資

案件(M&Aを除く)		目的	FY2026/3 1Q実績 154億円	FY2026/3 通期予想 (変更なし) 800億円
成長投資	拠点戦略	オペレーションの効率化と固定費の削減 働きやすい職場環境の構築	15億円	220億円
	DX推進	お客様への提供価値の拡大や オペレーションの変革による生産性向上	10億円	80億円
	新規事業	将来の事業成長と持続可能な未来に 資する新たな事業創出	0億円	20億円
環境投資	EV充電設備 ・太陽光発電等	低炭素社会の実現や、お客様に対する 環境負荷の少ない物流サービスの提供	5億円	100億円
経常投資	宅急便既存拠点の 改修等	既存ネットワークの維持	64億円	180億円
	その他拠点、 既存システムの改修等	既存事業の維持等	59億円	200億円

15. 連結業績予想

(億円)		FY2025/3 実績	FY2026/3 前回予想	FY2026/3 今回予想 (変更なし)	前回予想比較		前期比較	
					増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
営業収益		17,626	18,800	18,800	—	—	+1,173	+6.7
営業利益		142	400	400	—	—	+257	+181.6
利益率 (%)		0.8	2.1	2.1	—	—	+1.3	—
経常利益		195	400	400	—	—	+204	+104.2
親会社株主に帰属する 当期純利益		379	240	240	—	—	△ 139	△ 36.7

宅急便・ 宅急便 コンパクト・ EAZY	数量 (千個)	1,961,213	1,949,600	1,949,600	—	—	△ 11,613	△ 0.6
	宅急便部門 (小口法人・個人)	891,931	916,500	916,500	—	—	+24,568	+2.8
	法人部門 (大口法人)	1,069,282	1,033,100	1,033,100	—	—	△ 36,182	△ 3.4
	単価 (円)	711	729	729	—	—	+18	+2.5
ネコポス・ クロネコ ゆうパケット	数量 (千個)	391,154	398,700	398,700	—	—	+7,545	+1.9
	単価 (円)	189	195	195	—	—	+6	+3.2
クロネコ ゆうメール	数量 (千冊)	110,076	99,000	99,000	—	—	△ 11,076	△ 10.1
	単価 (円)	79	82	82	—	—	+3	+3.8

16. 連結業績予想（営業費用他）

(億円)	FY2025/3 実績	FY2026/3 前回予想	FY2026/3 今回予想 (変更なし)	前回予想比較		前期比較	
				増減	伸率 (%)	増減	伸率 (%)
営業収益	17,626	18,800	18,800	—	—	+1,173	+6.7
営業費用	17,484	18,400	18,400	—	—	+915	+5.2
下払経費	6,937	7,531	7,531	—	—	+593	+8.5
委託費	3,645	3,724	3,724	—	—	+78	+2.2
集配委託	944	1,029	1,029	—	—	+84	+9.0
作業委託	455	451	451	—	—	△ 4	△ 1.0
EC物流NW	246	139	139	—	—	△ 107	△ 43.6
その他	1,998	2,105	2,105	—	—	+106	+5.3
傭車費	2,473	2,829	2,829	—	—	+355	+14.4
その他	818	978	978	—	—	+159	+19.4
人件費	7,949	8,233	8,233	—	—	+283	+3.6
社員給料	5,384	5,605	5,605	—	—	+220	+4.1
法定福利費	1,006	1,065	1,065	—	—	+58	+5.8
退職給付費用	269	184	184	—	—	△ 85	△ 31.7
賞与・その他	1,289	1,379	1,379	—	—	+89	+6.9
車両費	524	543	543	—	—	+18	+3.6
車両修繕費	258	255	255	—	—	△ 3	△ 1.4
燃料油脂費	265	288	288	—	—	+22	+8.5
その他経費	3,765	4,021	4,021	—	—	+255	+6.8
減価償却費	485	511	511	—	—	+25	+5.2
システム関連費用	587	553	553	—	—	△ 34	△ 5.9
施設使用料	988	1,207	1,207	—	—	+218	+22.1
その他	1,703	1,750	1,750	—	—	+46	+2.7
合計	19,177	20,328	20,328	—	—	+1,150	+6.0
内部仕入消去	△ 1,692	△ 1,928	△ 1,928	—	—	△ 235	—
営業利益	142	400	400	—	—	+257	+181.6
従業員数合計（人）	172,822	174,200	174,200	—	—	+1,378	+0.8
フルタイマー	88,102	87,200	87,200	—	—	△ 902	△ 1.0
パートタイマー	84,720	87,000	87,000	—	—	+2,280	+2.7
設備投資総額（億円）	846	800	800	—	—	△ 46	△ 5.5

※(株)ナカノ 商会の連結影響含む（2025年3月期第4四半期～）

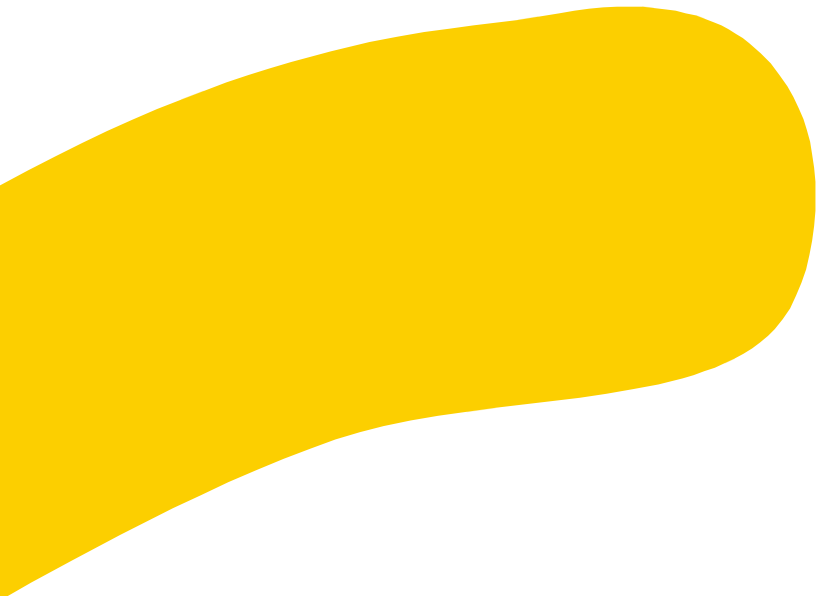
17. 連結業績予想（セグメント別）

(億円)		FY2025/3 実績	構成比(%)	FY2026/3 予想 (変更なし)	構成比(%)	前期比較	
						増減	伸率(%)
エクスプレス事業	外部顧客に対する営業収益	15,347	87.1	15,699	83.5	+351	+2.3
	営業利益	△ 128	△ 94.2	105	26.6	+233	—
コントラクト・ロジスティクス事業	外部顧客に対する営業収益	970	5.5	1,671	8.9	+700	+72.1
	営業利益	55	40.8	104	26.3	+48	+86.3
グローバル事業	外部顧客に対する営業収益	859	4.9	973	5.2	+113	+13.2
	営業利益	90	65.9	87	22.0	△ 3	△ 3.6
モビリティ事業	外部顧客に対する営業収益	205	1.2	229	1.2	+23	+11.7
	営業利益	37	27.6	42	10.6	+4	+11.1
その他	外部顧客に対する営業収益	244	1.4	228	1.2	△ 16	△ 6.8
	営業利益	82	59.9	57	14.4	△ 25	△ 30.5
連結仕訳	外部顧客に対する営業収益	—	—	—	—	—	—
	営業利益	5	—	5	—	△ 0	—
合計	外部顧客に対する営業収益	17,626	100.0	18,800	100.0	+1,173	+6.7
	営業利益	142	—	400	—	+257	+181.6

※各セグメントの営業利益および営業利益構成比は、セグメント間取引消去前の数値 / (株)ナカノ商会の連結影響含む（2025年3月期第4四半期～）
 / 2026年3月期より、ヤマト運輸(株)の本社関連費用の各事業への配賦方法を変更

18. 連結業績予想（従業員数）

(人)	FY2025/3 実績			FY2026/3 予想 (変更なし)			前期比較			
	フル タイマー	パート タイマー	計	フル タイマー	パート タイマー	計	フル タイマー	パート タイマー	計	伸率(%)
総人数	88,102	84,720	172,822	87,200	87,000	174,200	△ 902	+2,280	+1,378	+0.8
エクスプレス 事業	77,786	78,389	156,175	76,000	80,000	156,000	△ 1,786	+1,611	△ 175	△ 0.1
コントラクト・ ロジスティクス 事業	3,583	3,765	7,348	4,000	4,400	8,400	+417	+635	+1,052	+14.3
グローバル事業	2,370	229	2,599	2,500	200	2,700	+130	△ 29	+101	+3.9
モビリティ事業	1,461	585	2,046	1,600	700	2,300	+139	+115	+254	+12.4
その他	2,902	1,752	4,654	3,100	1,700	4,800	+198	△ 52	+146	+3.1



免責事項

この内容は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。提供情報の内容については万全を期しておりますが、完全性、正確性を保証するものではありません。いかなる情報も、不的確な記載や誤植等を含む可能性があります。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご承知ください。